

別紙

歯と口腔の健康づくりの推進に関する
施策の実施状況（報告）

令和3年度

熊本市

1 各ライフステージにおける対策の推進

(1) 胎児期・妊娠期及び乳幼児期

ア 令和2年度の取組結果等

口腔の健康を通して健やかな妊娠生活を支援するとともに、乳幼児の歯と口腔の健やかな発達と楽しい育児を支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
妊婦歯科健診・相談事業（直営）	内容	親子（母子）健康手帳交付時に、歯科健診・歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：595回 ・受診者数：2,160人
妊婦歯科健診・相談事業（委託）	内容	親子（母子）健康手帳交付時に歯科健診ができなかった妊婦に対して、受診券を発行し、歯科医療機関で歯科健診・歯科健康相談を実施する。
	結果	受診者数：1,576人
1歳6か月児歯科健診・フッ化物体験塗布	内容	1歳6か月児健診において歯科健診・歯科健康相談を実施する。また、希望者には、フッ化物体験塗布を実施する。
	結果	・歯科健診 実施回数：272回 受診者数：6,908人 ・フッ化物体験塗布 実施者数：6,334人
3歳児歯科健診	内容	3歳児健診において歯科健診・歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：253回 ・受診者数：6,949人
歯科健康教育	内容	子育てサークル等において、むし歯予防講話等を実施する。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、動画の二次元コードを掲載したリーフレットを活用して口腔衛生の大切さについて啓発を行う。
	結果	・実施回数：12回 ・参加組数：68組
育児相談	内容	区役所や子育てサークル等において、歯科健康相談を実施する。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、動

		画の二次元コードを掲載したリーフレットを活用して口腔衛生の大切さについて啓発を行う。
	結果	・実施回数：94回 ・相談者数：116人
フッ化物洗口支援事業	内容	フッ化物洗口の実施を希望する保育所等に対して、洗口剤等を配布するとともに、円滑な実施に係る技術支援を行う。
	結果	実施施設数：110施設（うち新規実施2施設）
保育所等における歯科健康教育	内容	保育所等において、幼児、保護者等を対象に、歯科講話、歯磨き指導等を実施する。
	結果	・実施施設数：85施設 ・実施回数：88回 ・参加者数：3,961人
乳幼児ママパパ教室	内容	育児サークル等において、歯科医師等を招いて教室を実施する。
	結果	・実施回数：1回 ・参加組数：6組
保育所等における歯科健康診断	内容	保育所等において、園歯科医師による歯科健診を実施する。
	結果	実施施設数：219施設

※ 令和2年度決算額

子育て世代包括支援センター運営経費 59,098千円

妊婦歯科健診経費 3,530千円

幼児健診経費 33,119千円

公立保育園嘱託歯科医手当 2,197千円

公立幼稚園歯科医報酬 1,059千円

保育所等フッ化物洗口事業 683千円

イ 令和3年度 of 取組内容（令和3年8月末日現在）

令和2年度 of 取組事業を令和3年度も継続して実施する。

※ 令和3年度 of 予算額

子育て世代包括支援センター運営経費 54,443千円

妊婦歯科健診経費 2,600千円

幼児健診経費 37,149千円

公立保育園嘱託歯科医手当 2,197千円

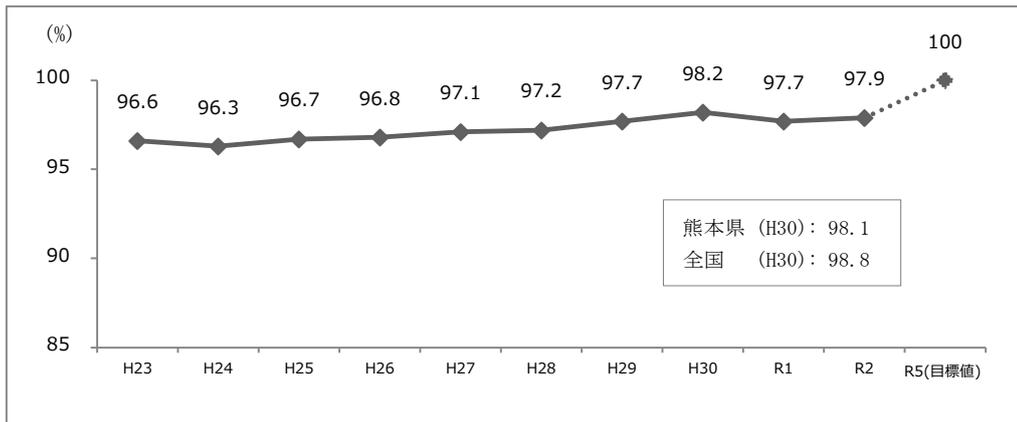
公立幼稚園歯科医報酬 1,060千円

保育所等フッ化物洗口事業 457千円

ウ 成果指標

1歳6か月児でのむし歯のない者の増加

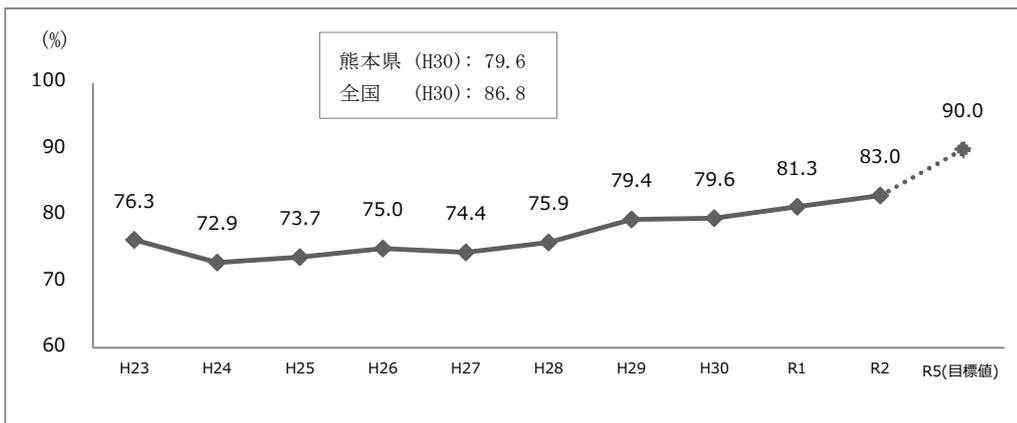
平成23年度 基準値	令和2年度 実績値	令和5年度 目標値
96.6%	97.9%	100%



出典：【熊本市】1歳6か月児歯科健診
【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

3歳児でのむし歯のない者の増加

平成23年度 基準値	令和2年度 実績値	令和5年度 目標値
76.3%	83.0%	90.0%



出典：【熊本市】3歳児歯科健診
【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

(2) 学童期及び中・高生期

ア 令和2年度 of 取組結果等

学童期の乳歯と永久歯の生え変わりが始まる時期に、自分の口にあった歯磨き習慣を身に付け、むし歯や歯肉炎のない楽しい学校生活ができるよう支援するとともに、生活習慣の改善によりむし歯や歯肉炎を減少させることができる中高生が増加するよう支援するために、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
小中学生に対する歯科健康教育	内容	小中学生を対象としたむし歯や歯肉炎の予防等の講話や歯磨き指導を実施する。
	結果	・実施校数：28校（うち小学校27校、中学校1校） ・実施回数：40回（うち小学校39回、中学校1回） ・参加者数：2,719人（うち小学生2,555人、中学生164人）
小中学校の学校保健委員会に対する歯科健康教育	内容	小中学校の学校保健委員会において、学校や家庭における歯と口腔の健康づくりに関する取組等の助言等を行う。
	結果	実施校数：2校（うち小学校1校、中学校1校）
歯科健康相談	内容	小中学生や保護者に対して、歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：12回 ・相談者数：12人
歯科検診	内容	就学时歯科検診及び学校歯科検診を実施する。
	結果	実施校数：138校
フッ化物洗口事業	内容	むし歯予防のため、小学校で週1回法によるフッ化物洗口を実施する。
	結果	実施校数：36校

※ 令和2年度決算額

小学校等フッ化物洗口事業 4,460千円

学校歯科医報酬 31,172千円

イ 令和3年度取組内容（令和3年8月末日現在）

令和2年度取組事業を令和3年度も継続して実施する。

※ 令和3年度予算額

小学校等フッ化物洗口事業 16,043千円

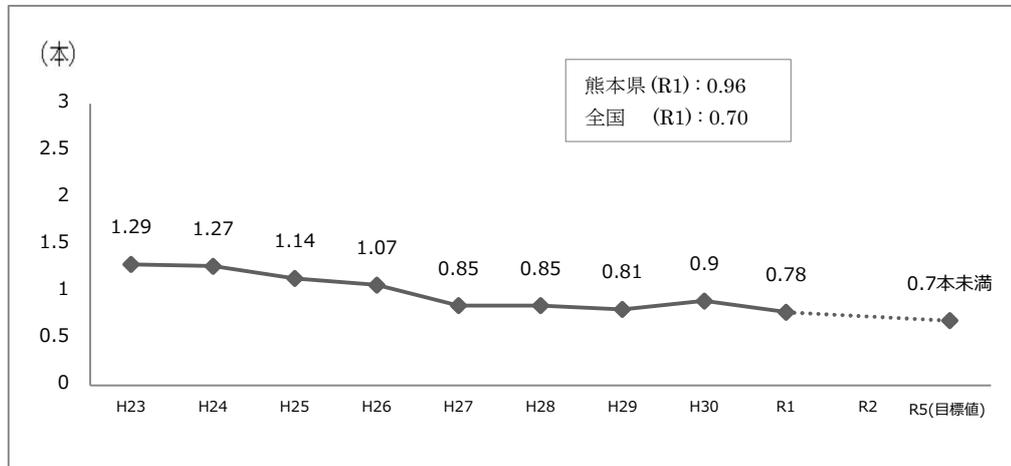
学校歯科医報酬 31,041千円

ウ 成果指標

12歳児でのむし歯のない者の増加

(1人当たりむし歯本数の減少)

平成23年度 基準値	令和元年度 実績値	令和5年度 目標値
1.29本	0.78本	0.7本未満



出典：熊本県歯科保健状況調査

(3) 成人期

ア 令和2年度 of 取組結果等

社会生活を送る上で、歯と口腔の健康づくりが重要であることを知り、自分にあつた口腔ケアを獲得できるように支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
歯たちの健診	内容	生活習慣が不規則になる時期でもある大学生等を対象に、歯科疾患の予防と口腔衛生意識の向上を目指し、学園祭や区役所実習の学生に対して歯科健診や歯科健康相談を実施する。
	結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
歯周病検診	内容	歯の喪失をもたらす歯周病を予防し、かかりつけ歯科医における定期歯科健診を推進するため、歯周病検診の受診に対する支援を実施する。
	結果	受診者数：47人（うち40歳18人・41歳2人、60歳23人・61歳4人） ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和元年度に検診を中止した期間があつたことから、同年度の未受診者も対象とした。

歯科健康教育	内容	生活習慣病予防教室において、糖尿病等と歯科疾患との関連について歯科健康教育等を実施する。また、8020教室において、歯科疾患の予防等についての講話や口腔ケアの啓発等を実施する。
	結果	・実施回数：18回（うち生活習慣病予防教室1回、8020教室17回） ・参加者数：383人（うち生活習慣病予防教室16人、8020教室367人）
歯科健康相談	内容	定期歯科健診を推進するため、歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：18回 ・相談者数：25人
地域歯科保健研修会	内容	生活習慣病対策に携わる多職種の専門職を対象としたオンライン研修会の中で「感染症と口腔ケアの深い関係」に係る講話を実施する。
	結果	・視聴回数：274回 ・参加職種：医師、歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、保健師、看護師、管理栄養士、社会福祉士、食生活改善推進員、8020推進員、行政職員等

※ 令和2年度決算額

歯周病検診経費 203千円

イ 令和3年度の実施内容（令和3年8月末日現在）

令和2年度の実施事業を令和3年度も継続して実施する。

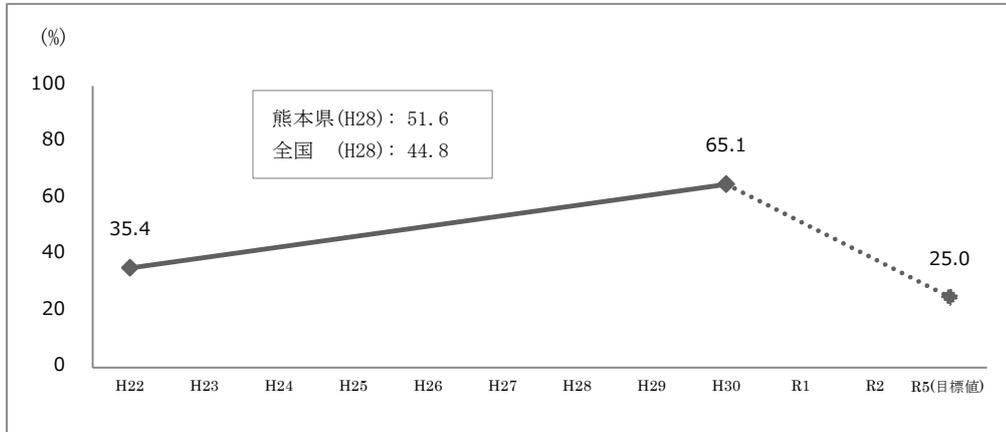
※ 令和3年度予算額

歯周病検診経費 700千円

ウ 成果指標

40歳代における進行した歯周炎を有する者の減少

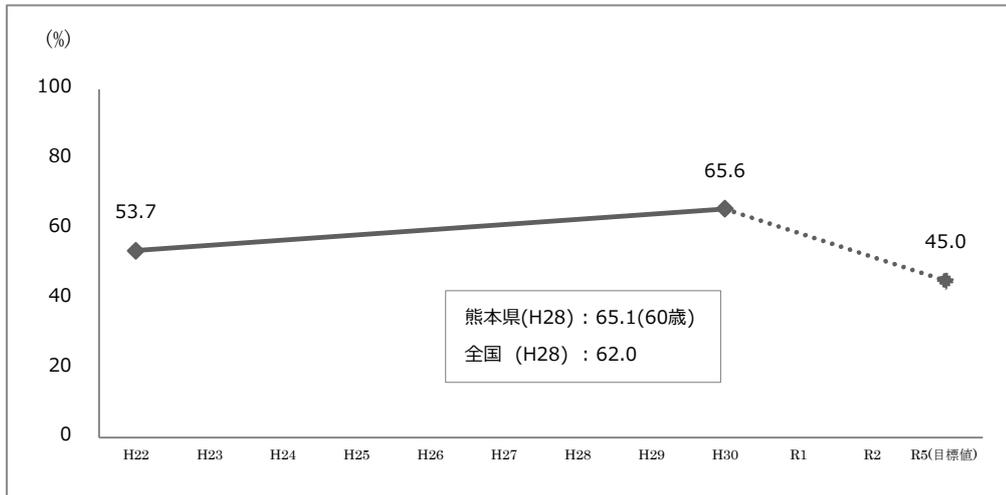
平成22年度 基準値	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
35.4%	65.1%	25.0%



出典：【熊本市】成人歯科健診
【熊本県】熊本県歯科保健実態調査
【全国】歯科疾患実態調査

60歳代における進行した歯周炎を有する者の減少

平成22年度 基準値	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
53.7%	65.6%	45.0%



出典：【熊本市】成人歯科健診
【熊本県】熊本県歯科保健実態調査
【全国】歯科疾患実態調査

(4) 高齢期

ア 令和2年度の取組結果等

歯の喪失等による口腔機能の低下を防止し、「食べること」を通じて積極的に社会活動ができるように支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
8020表彰	内容	満80歳以上で自分の歯を20本以上有する市民を表彰するため事前審査を行い、達成者には表彰状を郵送する。
	結果	表彰者数：64人
歯科健康教育	内容	地域において高齢者を対象に、口腔機能向上や口腔ケアの必要性に関する歯科健康教育を実施する。
	結果	・実施回数：6回 ・参加者数：74人
歯科健康相談	内容	高齢者を対象に、口腔機能向上や口腔ケアについての歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：9回 ・相談者数：15人
後期高齢者歯科口腔健康診査	内容	後期高齢者の口腔機能の改善を図り、生活習慣病、誤嚥性肺炎等の疾患を予防するため、歯科口腔健康診査を実施する。 ※ 受診対象年齢：75歳以上
	結果	受診者数：784人（令和3年5月末日暫定値）
短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）	内容	口腔機能向上や改善を目的としたプログラムを実施する。 ※ 事業対象者：要支援1又は要支援2の認定を受けている者及び本サービスを利用することにより機能の維持・改善が見込まれる65歳以上の者
	結果	・実施事業所数：6事業所 ・利用者数：5人 ・実施回数：9回
介護予防の啓発	内容	運動機能向上、口腔機能向上及び栄養改善を目的とした啓発のための動画を各1本制作し、放映する。
	結果	・民放4社 放送回数：118回 ・街頭ビジョン放映回数：900回 ・YouTube視聴回数：39,418回

※ 令和2年度決算額

後期高齢者歯科口腔健康診査 3,259千円

短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）事業費 30千円

イ 令和3年度の取組内容（令和3年8月末日現在）

令和2年度の取組事業を令和3年度も継続して実施する。

※ 令和3年度予算額

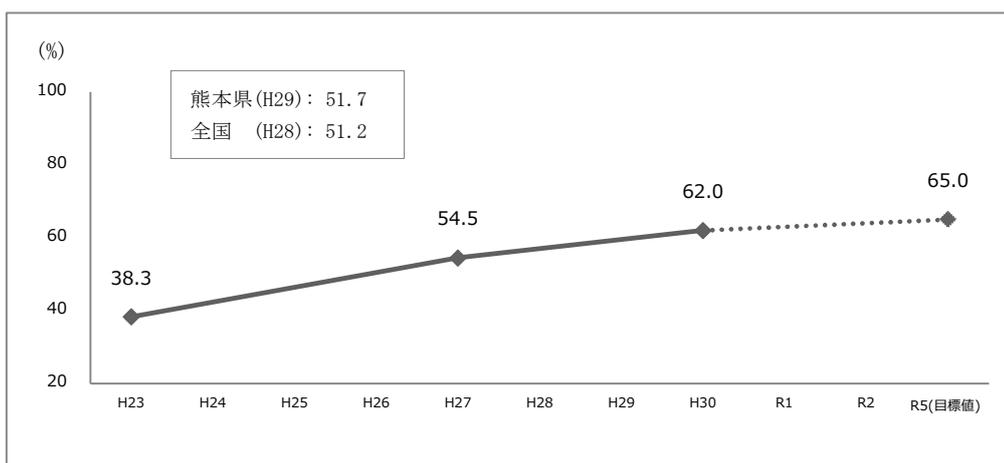
後期高齢者歯科口腔健康診査 5,976千円

短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）事業費 248千円

ウ 成果指標

80歳で20歯以上の自分の歯を有する者（8020達成）の増加

平成23年度 基準値	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
38.3%	62.0%	65.0%



出典：【熊本市】健康くまもと21市民アンケート
 【熊本県】熊本県健康・食生活に関する調査
 【全国】歯科疾患実態調査

2 歯と口腔の健康づくりを支え・守るための環境づくり

(1) 令和2年度 of 取組結果等

校区単位の健康まちづくりの中で歯科保健の活動を推進し、8020推進員を育成・支援するとともに、障がい者等の歯科診療の環境づくりを支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
8020推進員育成事業	内容	8020推進員育成講座を実施し、8020推進員を育成する。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、自宅学習を受講方法に追加し、実施する。
	結果	修了者数：100人
8020推進員活動支援	内容	8020推進員に口腔ケアや歯科疾患予防のアドバイス等を行い、地域での歯と口腔の健康づくり啓発活動の支援を実施する。
	結果	・実施回数：324回 ・参加者数：2,496人
歯と口の健康週間	内容	毎年6月の「歯と口の健康週間」において、地域住民を対象に歯科保健普及や災害時の口腔ケアの啓発等を実施する。
	結果	・実施回数：57回 ・参加者数：2,420人
校区単位の健康まちづくりや地域のイベント等での啓発事業	内容	校区単位の健康まちづくりイベントや地域のイベント等において、歯科健康相談や唾液PHチェック等を実施し、歯科保健に関する啓発を実施する。
	結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
障がい児及び発達に不安のある児のむし歯予防事業	内容	未就学児のうち身体障害者手帳、療育手帳又は歯の健康ノートを保有するものを対象として、口腔ケア、フッ化物塗布及び口腔衛生指導を実施する。
	結果	・実施回数：21回 ・受診者数：99人
障がい者通所施設での歯科健康教育	内容	障がい者通所施設において、利用者や施設職員に対して口腔ケアの必要性や口腔機能に関する健康教育を実施する。
	結果	・実施回数：1回 ・参加者数：23人

障がい児（者） 口腔ケア地域 リーダー育成 事業	内容	障がい児（者）が身近な地域で歯科診療を受けることができるよう、地域の歯科医師及び歯科衛生士の診療の知識等の習得を図る事業を実施する。
	結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
歯科救急医療 対策	内容	在宅歯科当番医制度により、いつでも安心して適切な歯科診療を受けることができる救急医療体制づくりを実施する。
	結果	通常初期救急体制として、休日の準夜間において歯科診療を実施 ・診療日数：66日 ・診療件数：81件 年末年始初期救急体制として、24時間の歯科診療を実施 ・診療日数：5日 ・診療件数：293件
適切な医療体制の 確立	内容	熊本県歯科医師会による障がい児（者）歯科医療提供体制強化事業への支援を実施する。
	結果	熊本県歯科医師会立口腔保健センターにおいて、週6日、障がい児（者）に対する歯科医療を提供 ・診療日数：243日 ・診療件数：2,634件
災害時の口腔 ケアの啓発	内容	災害時の口腔ケアの啓発を、歯の祭典、熊本市民健康フェスティバル及び笑顔ヘルCキャンペーンのイベント及びホームページを通して実施する。
	結果	ホームページを通じての啓発のみ実施（イベントにおける啓発は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）。

※ 令和2年度決算額

歯科保健推進経費 791千円

歯科保健推進事業実施団体に対する補助金 517千円

休日夜間急患在宅歯科診療事業 1,278千円

年末年始急患歯科診療事業 1,293千円

口腔保健センター負担金 1,000千円

(2) 令和3年度取組内容（令和3年8月末日現在）

令和2年度取組事業（障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業を除く。）

を令和3年度も継続して実施する。

※ 令和3年度予算額

歯科保健推進経費 1,258千円

歯科保健推進事業実施団体に対する補助金 917千円

休日夜間急患在宅歯科診療事業 1,278千円

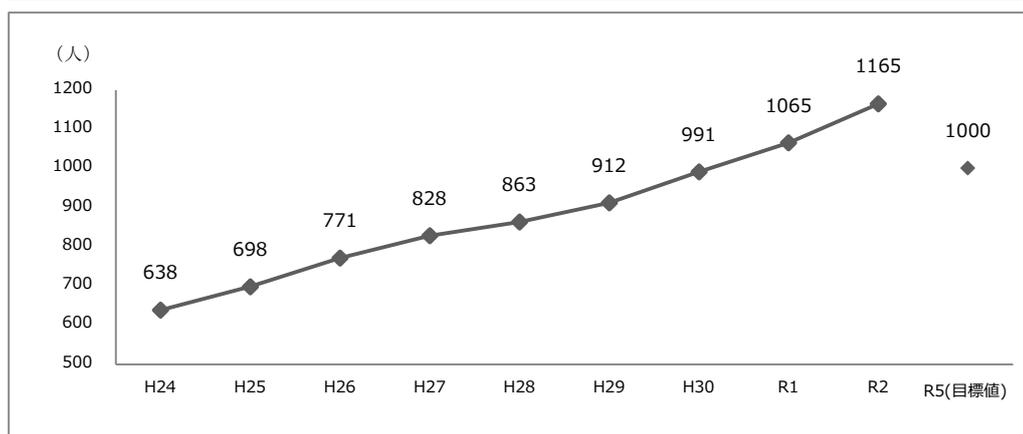
年末年始急患歯科診療事業 1,294千円

口腔保健センター負担金 2,000千円

(3) 成果指標

8020推進員の育成数の増加（累計）

平成24年度 基準値	令和2年度 実績値	令和5年度 目標値
638人	1,165人	1,000人 (令和元年度達成済み)



出典：【熊本市】8020推進員育成事業